

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞

横浜市推薦

WHILL株式会社

(神奈川県横浜市)

【概要】

➤ 100Mというわずかな距離でも、段差、悪路などの物理的なハードルだけでなく、車椅子に乗ることへの心理的なバリアで外出をためらうという車椅子利用者の声を聞き、社会の課題をデザインとテクノロジーの力で解決した電動車椅子を開発した。

【功績・功労】

➤ 全ての人の移動を楽しくする電動車椅子の開発
障害の有無や年齢に関わらず「すべての人の移動を楽しくスマートにする」ことを目指し、利用者調査や顧客のニーズを洗い出し、「車椅子に乗っている人」として見られることが外出時の心理的ハードルになっていることに着目。一般的な電動車椅子では難しい5cmの段差を乗り越えられる走破性とデザイン性を重視した電動車椅子を開発した。



WHILL Model C 側面

➤ オムニホイールの採用

独自に開発したオムニホイール(前輪)は、小回りと走破性を兼ね備え、段差や坂道、砂利道なども楽々と走れる一方、屋内などの狭い場所での走行性に優れており、後輪を中心にその場で回転することができる。また、幅60センチというコンセプトでスタイリッシュなデザインは、これまでの車椅子のイメージを覆し、誰もが、「乗ってみたい」と思えるものになっている。



➤ パーソナルモビリティとしての活用

車椅子を「一人乗りの乗り物(パーソナルモビリティ)」として定義し、障害者のみならず、歩行困難者や免許返納者の新しい移動手段として、移動にともなう社会課題の解決に取り組んでいる。

本製品は、独自に開発したオムニホイール(前輪)や、直感的な操作性、環境負荷が少ない等、車椅子の概念にとらわれない電動パーソナルモビリティで、車椅子利用者や、高齢で歩行が困難な人たちに利用されており、障害者のみならず、歩行困難者や免許返納者の新しい移動手段として移動に伴う社会課題に対応している。

パーソナルモビリティを使用したシェアリング実証実験を行っており、歩行空間における新たな魅力を高めるとともに、超高齢化対応に向けたまちづくりなど、移動に伴う社会課題や新たな価値創出を生み出している。



ヨコハマ未来モビリティショーケース